

台風6号が沖縄本島地方・先島地方を通過

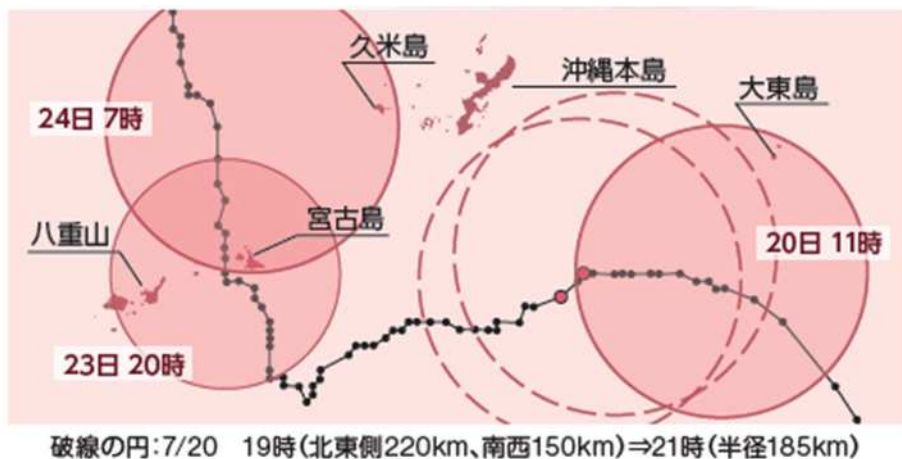
7月20日(火)～25日(日)にかけて、台風6号が大東島地方、沖縄本島地方、先島地方に襲来しました。今年初めて本格的に当社管内に接近した台風6号は、速度が遅く、長時間にわたり停滞しましたが、当社・関係会社、電気工事会社(協力会社)が一体となり、早期の停電復旧に向け、作業を行いました。

●経路および特徴

7月18日(日)3時に日本の南で熱帯低気圧から変わった台風6号は、20日(火)9時には南大東島の南南西で暴風域を伴い、21時には強い勢力となりました。

その後、発達しながら沖縄の南をゆっくりとした速さで西寄りに進み、23日(金)から24日(土)にかけて宮古島地方にかなり接近しました。その後、宮古島と多良間島の間を通過し東シナ海に進み、沖縄地方から次第に遠ざかりました

暴風域に入った時間帯は、大東島地方が20日(火)9時頃から約9時間、宮古島地方が23日(金)5時頃から約27時間、八重山地方が同日10時頃から約17時間、久米島地方が24日(土)5時頃から13時間でした。



●設備被害状況

発電 : 被害なし
送電 : 被害なし
変電 : 被害なし
配電 :

電線断線[高圧] 9条・スパン
電線断線[低圧] 6条・スパン
柱上変圧器破損 15台
高圧バインド、碍子破損 269箇所

●復旧要員派遣

事前派遣

①周辺離島等への事前派遣 26名
②宮古・八重山支店への事前派遣 39名

事後派遣

①宮古支店への事後派遣 55名

最大停電戸数 : 5,870 戸 (7/23 13:00)